



HIGASHI OSAKA MIDORI R.C

CLUB WEEKLY

国際ロータリー 第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日
会 長 政 岡 政 広
幹 事 木 戸 章 由
会報委員長 今 中 健

2020. 11. 05 (第992回)

今週のプログラム

《11月05日(木) 例会 KKR ホテル5階「瑞宝」》

◎卓 話 「ロータリー財団月間に因んで」
地区ロータリー財団委員会 資金推進小委員会
委員長 岩佐嘉昭様
地区ロータリー財団委員会 補助金小委員会
委員 相馬康人様

♪本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

来週の予定

《11月12日(木) 例会 KKR ホテル5階「瑞宝」》

◎卓 話 「未 定」
今中 健君

先週の出席者

《10月22日(木) 例会》

会員数19名 出席者12名(75%)

*9月10日(木) 例会修正出席率 73.7%

会員数19名 例会出席者13名/マークアップ1名

幹事報告

幹事 木戸章由君

◎本日の例会には、11月ロータリー財団月間ということで、地区ロータリー財団委員会 資金推進小委員会 委員長 岩佐嘉昭様と地区ロータリー財団委員会 補助金小委員会 委員の相馬康人様にお越し頂いて勉強させていただきます。

どうぞ宜しくお願い致します。

◎例会後に定例理事会を行います。

◎次週(11/12)のPR例会の予定でしたが、通常例会に変更致します。

◎11/19(木)の例会は公休日です。

会長の時間

会長 政岡政広君

本日は例会終了後のIMRD実行委員会に出席頂くために、2名のお客様にお越し頂いています。

大阪ネクストRCの会長 表 泰之様、SAAの茨木 繁様です。後ほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

先週は休会でしたが、16時よりガバナー事務所にて「IMRDホストクラブ準備促進委員会」というIMRDのホストクラブの説明会があり、小寺実行委員長と会長幹事で出席してまいりました。

また明日(10/23)の金輪会(IM第4組会長幹事会)にもこの3名で出席してまいります。ここではIM第4組のIMRDについて、会費・予算や事業計画の報告をしてまいります。

それではIMRDについて、今現在のところまでの中間報告をさせていただきます。

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122
事務所：〒540-0007

例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

大阪市中央区馬場町1-8 メゾン・ド・ヴィレ大阪城公園前402号室
Tel. 06-6945-1800 Fax. 06-6945-1808 E-mail midori-rc@george24.com

お手元のチラシはまだ修正箇所がございますが、開催日時は2021年2月27日（土）13時30分から、場所はシェラトン都ホテル大阪4階「浪速(西)」で、テーマは、実行委員会で様々なワードを出し合って決定したのが、「コロナが問う！日本の危機管理～基本に戻って未来へ～」です。

講演者は小寺実行委員長の紹介で、「そこまで言って委員会」などテレビでも活躍されているジャーナリストの門田将隆氏です。ハッキリものを言う方で個人的にも好きな方です。講演の題名は門田氏と現在検討中です。

先日の打ち合わせで、会場のシェラトンホテルはWi-Fiの通信状況があまりよくないと聞き、この件についての対策など詳しいお二方（表様、茨木様）とこの後の実行委員会で話し合いを致します。

F R親睦交流会についても、地区からはZOOMやYouTubeなど使って行い、IMRD同様、コロナ禍であっても開催できるような準備をするように言われております。

これから具体的にどのような内容にするかなどまだまだ検討しないといけないことが山積みですが、みどりRC総力上げて皆さんと共に仕上げていきたいと思っております。宜しく御願いたします。

卓 話 抄 録

「生活困窮者と子供食堂」

井上善博君

本日のテーマは今、日本が直面しているコロナ禍による生活困窮者の増加問題にスポットを当てたいと思います。2年前の厚労省の調査では日本はアメリカ、中国に次ぐ世界第三位の経済大国でありながら、7人に1人が貧困にあえぎ、母と子の一人親世帯では50パーセントの人々が貧困に苦しんでいるというデータがありました。現在、コロナ禍でその割合は6人に1人、70パーセント以上の一人親世帯が過酷な生活を強いられているのではないかと考えられています。

年間122万円以下の可処分所得しかない世帯を相対的貧困層、一般的に生活困窮者と呼ばれる方々と推測されます。つまり10万円/月で親子二人ずっと暮らすという状況を想像してみてください。子供の教育どころか、「明日食べる物が無い!」という状況が現代の日本において現実的に6人に1人の割合で起こっているのです！高齢者の世帯も貧困率が上昇しており、今後日本はあらゆる世代の年齢層が貧困にあえぐ時代が来ると言われております。本日は若い世代、特に子供達の貧困に目を向けます。

行政も何も手を打っていないわけではありません。2015年には生活困窮者自立支援制度を立ち上げたり、市役所の中にも色々な部署があり、相談に応じたり、貸付などを行ったりしています。しかし、残念ながら、支援を必要とする絶対数が多すぎて、フォローしきれいていません。

そこで、会員の皆さんも最近よく耳にする言葉で「子供食堂」がクローズアップされています。一日に一食、しかもカップラーメンだけ!という状況の地域の子供さんを集め、定期的にご飯を提供したり、話を聞いてあげたり、献身的なボランティア精神のもとに活動をされています。少しビデオを見てください。いかかがでしょう？共通して言えるのは、すさんだ現代日本の家庭や学校生活の中で、行き場のない子供たちの最後の砦(とりで)的な役割を色々な形でこなしているということです。ビデオのなかで女の子が言っていた「おうちにはないものがここには一杯あるねん、ここが無くなったらこまるわ。」というセリフに全てが集約されているように私は感じました。そしてこの子供たちに手を差し伸べることによって、その親御さんたちも精神的に救われたり、同じ環境下にある人たちと励ましあって支えあったりと、「子供食堂」は地域の大きな支柱になっているのがわかります。

我々のクラブも本格的に支援を始めるにあたって、いくつも気を付けなければいけないことがあるはずです。まずは知識を得るために学ぶことから入

Challenge to Revival!

2020～2021年度 東大阪みどりRCのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ

るのですが、実際「子供食堂」を営んでいる団体・個人・行政から生の声を聞いて、そして実際現場でお手伝いをさせて頂くことが一番良いと考えます。例えばまずは、定期的開催されている「子供食堂」に出向き、食材の調達や調理のお手伝いをし、子供たちと一緒に遊んだり、勉強を見てあげたりといったことです。いきなり単独では厳しいので、アドバイスを受けながら一緒にお世話をするというところから始めることが、望ましいでしょう。

コツをつかめば、後は慣れていけると思いますが、問題は持続力だと考えます。地域の支柱になるわけなので、ある日突然「もう疲れたからやめます。」という具合にはいかないと思います。長い期間を視野に入れ（せめてそこの地域の子供たちが成人するまで）2回/月くらいは継続的にメンバー全員で担当シフトを組むくらいの心づもりがいるのではないかと私は考えます。

意義のある素晴らしい奉仕事業として展開できれば、当クラブにとっても地域の皆様にとっても win - win の関係になれるのでは？ 皆さん是非一度チャレンジしてみましょう！

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

◎初めて例会に参加させていただきます。宜しくお願いします。インターシティミーティング（IMRD）の成功をお祈りします。

大阪ネクストRC 会長 表 泰之様

◎大阪ネクストRC表会長、茨木様ようこそお越し下さいました。

政岡政広君 木戸章由君

北井孝彦君 小寺史郎君

◎井上さん卓話宜しくお願い致します。

阪田克英君 表 孝典君 濱田進一君

◎お疲れ様です。寒くなってきましたね。皆様体調管理に気を付けて下さい。 今中 健君

本日合計 26,000 円 今年度累計 195,000 円

報告事項

◎10月17日(日)、米山レクリエーションに、米山奨学生のルシアーノ君がご夫婦で参加をされました。とても楽しい時間だったと報告してもらいました。



本日のお祝い

会員交流委員会

◎奥様のお誕生日

11月01日 北井栄美様

11月11日 表 紀子様

11月 ロータリー財団月間 財団寄付の地区目標

年次寄付	150\$以上
ポリオプラス寄付	50\$以上
ベネファクター	1名以上

米山の特別寄付も引き続き受け付けております。宜しくお願い致します。